

ルーフ広宣 インタビュー

突撃!!

「シャカ族」出版の秘話！
抱腹絶倒！始めて見たマジックとは！？

「ネパールで私と義兄弟の Mr. カピル氏が、突然来日」
カピル・デブ・タバ氏
アジアを股にかけた国際ビジネスのオーソリティー

携帯での問題サイトも限りなく多くなっているから、高校生くらいまでの子を持つ親たちは、子供の携帯電話に使える範囲を限定する制限をかけることが当たり前になってきている。自由を自ら制限せざるを得ない時代がもう既に来ているのである。

名称のつけ方、映画の展開、すべてをひっくるめて「アバター」は面白い。それが、飛び出して立体的に見えるのだから、ここまで来たら、マジックの世界はどうなっていくのだろう？ と思わざるを得ない。もうありきたりのネタでは、正直、馬鹿馬鹿しくて通用しない。そういう時代に入っていくのも目前だ、と強く思う。

マジシャン自身の魅力、存在感も一層重要になっていくだろう。その上で、デジタル化時代に対応したマジックの追求と研鑽の道が一つ。もう一つは伝統的な奇術に類するものを修得、磨きあげていく道。おそらく、マジックの道はさらに二極分化の方向を辿ることになるのではないだろうか。

現

在演じているものだけで、満足している担い手たちは、やがて置いていかれる。進化し続けなければ、真の担い手とは言えないからだ。そうして、全体としての開かれた組織として、日本奇術協会を発展させていくことも肝要だ。ボ

クの見るところ、マジックの世界は、他の芸能各ジャンルに比べて、もっとも閉鎖的、閉塞的だ。先に行われた協会の新年パーティーにも出席させてもらったのだが、昨年よりもさらに小規模で、まったくの仲間内の会と化していた。協会から顕彰された人たちも、これでは広く知られていくことがない。組織と個の芸との融合と発展は、どの演芸団体にも共通した課題だが、少なくとも理事以上の私たちは、常にそのことも念頭に入れておかなければ幹部たる資格はない。開かれた協会へ！ 新たな自覚と将来的展望を持つた個々の芸の開拓を！ と敢えて記しておきたいと思う。

ルーフ…まず、2008年地球温暖化防止

チャリティーの時は大変にお世話になりました。特にネパール環境科学技術省協賛や駐日・ネパール大使のご臨席の元、盛大に挙行出来たのもカピルさんのお陰と大変に感謝しております。ところで最近のヒマラヤの現状はどうですか？温暖化が進んでいるのでしょうか？

カピル…あれからネパールに帰り、谷川の掃除をボランティアを募ってやり、地球温暖化防止チャリティーをネパール国内で挙行したりしましたが、国策としてはまだ余り進んでいません。これを考えると泣きたい気



持ちになるんですが…、先進国の日本を始め各国がCO₂削減とかに対応してくれるのを祈るばかりです！

ルーフ：日本も政権交代し、現政府が動き出しているんですが、この問題はネパールだけにとどまらず世界中に影響すると思うんですね。やはり私はマジシャンとして、この地球温暖化による危機を訴える活動をやり続けて、皆様に自覚して頂ける様に頑張りたいと思います。ところで、カピルさんは日本でどんなビジネスを展開されているんですか？

カピル：私は元々、日本でネパール商工会議所の会長を務め、日本とネパールは元々、学生に教えてくれる、ネパールから仕事としてマジシャンになる人も出るんじゃないかと思えます。ルーフさんのマジックは日用品を使った不思議なマジックが多数あるのでお金をかけずにネパールでも出来ると思うんですよ。

ルーフ：ええ、私は常々、ネパールの為に尽力したいと思っていますよ。何しろ2006年の国交樹立50周年の佳節にはVIPとしてご招待頂き、カトマンズでの「ルーフ広宣チャリティー・ショー」では座長を務めま

ル両国のビジネスが円滑に出来るよう頑張ってきました。在日ネパール人協会の副会長も務め、今は相談役となりました。東京に3店のカレー・レストランも経営しております。又、ネパール国内では教育事業を展開、現在、2500人の学生を有する大学のオーナーで、4つの日本語学校も経営しております。

ルーフ：凄いですね！ネパールの将来の有能な人材を輩出しているという訳ですね！日本とネパールの架け橋となつたから、あの時は会場に入り切れない程の群衆が押し寄せ、ショーが始まると大変な歓声が上がったのを昨日の事の様に思い出しますよ。

カピル：ルーフさん、是非又、ネパールに来て下さい。それから、是非再び、日本で「地球温暖化防止チャリティー」を再演しませんか？！

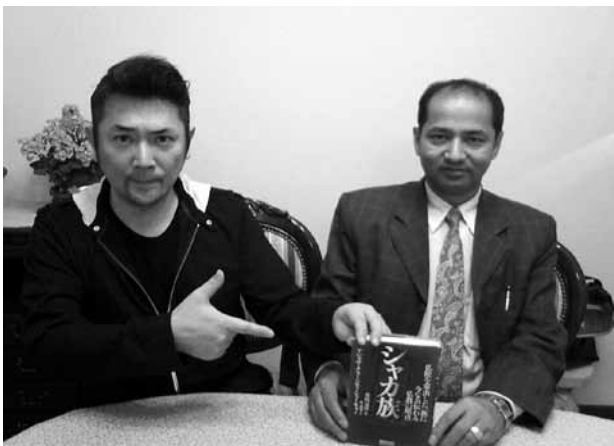
ルーフ：そうですね。あれから2年経ちますからね。第二陣・地球温暖化防止チャリティーをやりますか！
カピル：是非、やりましょう！それから、ちょっとサプライズがあるんですよ。ルーフ：えっ？何ですか？！

て活躍されているんですから、これからもカピルさんに目が離せませんねー！私も義兄弟として何か尽力させて頂きますよ。ところで、カピルさんはマジックに期待する事は何かありますか？

カピル：今まで、目の当たりにルーフさんの素晴らしいマジックを沢山、見て来たんですが、是非1つか2つ位のマジックをネパールの学生にも伝授して欲しいんですよー色々、協力して来た事もあるし…。

ルーフ：えーっ？そうですね。カピル：ネパールに来て、うちの大学で学生に教えて貰いたいんですが、どう山の日本人と知り合い「和民」の社長、渡邊美樹氏とも親しく交流させて頂いておりますが、たまたま教育ビジネスのパートナーの日本人から釈迦はインドで生まれたと言われ驚いたんですよ。日本人の多くが仏教徒でありますから、お釈迦様がネパールで生まれた事を知らないんですよ。それで、それを証明する文献が無いかと探したら英語版「The Sakyas」という本に巡り合ったんです。この度、私の発案で日本語版「シヤカ族」が徳間書房から昨年11月に出版されたんですよ。

ルーフ：そうですね。愛国心からの出版



なのでですね。

カピル…ええ、この本を日本で出版したら日本の各宗派が黙っていない！という人も居ましたが、作家の井沢元彦ご夫婦が協力して下さり、お二人で二度、ネパールを訪れてこの件を調査したんです。ネパール人著者で釈迦の子孫に当たるアジャヤ・シヤカとも会い、日本に帰国してからは仏教書物を調べたりして出た結論は、この本の内容は正しい！という事でした。

ルーフ…カピルさんの熱意で動かれた井沢元彦ご夫婦も素晴らしいですね！
カピル…ええ、今とても感謝しております！

昨年6千部出版し、今では全国で販売中ですから、是非、皆さん読んで頂きたいと思います。

ルーフ…はい、是非、読ませて頂きます！
釈迦生誕の地がネパールであると立証されたのですから日本の仏教史上に残ると思いますよ。ところで、カピルさんは初めてマジックを見たのはいつ頃ですか？

カピル…十四才の時、見たのですが、本当にびっくりしました。

ルーフ…どんなマジックを見たのですか？
カピル…人を殺して…
ルーフ…えっ？！

カピル…体の中から心臓を取り出して

ルーフ…あははは(笑)面白い！

カピル…ネパール人がお金あげないと、この人死ぬんじゃないですかーだから皆、お金をバンバン投げたんです。

ルーフ…はっはっは(笑) 商売ですね！

カピル…死んだ人も「すみません。助けて下さい。お金下さい」と言うもんだから、皆ビビって…更にお金をバンバン投げたんですよ。そうしたら、心臓を元に戻して、その人は生き返り、皆大喜びしたんです。

ルーフ…その当時カピルさん、それはトリックだと気付かなかったんですか？

カピル…その時は私が一番びっくりしたんですよ。今、ルーフさんが笑ったよう

に、今思い出すと、僕も可笑しいですよ。思い出す度に一人で笑っています。

ルーフ…あっはっはっは(2人共爆笑中)
カピル…今ももう、そんな事に騙される人は居ないですが。

ルーフ…じゃ若い人だけが騙されて、お年寄りには騙されなかったんでしょうね？

カピル…いや、年寄りでも騙されてたんですよ！ネパールは神教(ヒンズー教) 仏教(仏教)の国ですから突然、あんな風になったら皆、呆然自失ですよ。あの場から逃げる訳にもいかないし…逃げたら、自分が殺して逃げたような感覚になっちゃうんですね。

ルーフ…わーっはっはっは(再度、爆笑中)

…
…
面白なお話を有難うございました。まだまだ楽しいお話を聞きたいのですが、紙面の都合上、ここ迄にします。今後共、日本とネパールの為に、更に私達が文化芸術の発展に寄与する様、協力して参りましょう。本日は、突撃インタビューにに応じて頂き、誠に有難うございました。